

令和4年度第1回
福島県青少年健全育成審議会
(部会)

令和4年6月9日(木)午後2時～

チェンバおおまち3階

福島市市民活動サポートセンター

多目的ホール

こども未来局

こども・青少年政策課

名 簿

1 福島県青少年健全育成審議会部会委員

番号	役 職 名	氏 名	出 欠	備 考
1	福島県興行生活衛生同業組合理事長	あべ やすひろ 阿部 泰宏	出席	
2	福島民報社編集局社会部長兼編集庶務部長	ゆだ てるひこ 湯田 輝彦	出席	
3	清和大学短期大学部准教授	ごとう さおり 後藤 紗織	出席	
4	福島民友新聞社編集局次長兼出版部長	さとう しょう 佐藤 掌	出席	
5	公募委員	さいとう すずこ 齋藤 鈴子	欠席	
6	福島県青少年育成県民会議常勤理事	すずき ただお 鈴木 忠夫	欠席	
7	福島県書店商業組合理事	くにい ゆういちろう 國井雄一郎	欠席	
8	福島県高等学校生活指導協議会常任理事	やました のりふみ 山下 訓史	出席	
9	福島市青少年センター補導委員会会長	てらしま こういち 寺島 孝一	出席	
10	福島県女性団体連絡協議会理事	やまもと まゆみ 山本真由美	出席	
11	一般社団法人あんだんて事務局長	やまもと みつこ 山本 光子	出席	
12	福島県PTA連合会母親代表理事	どい ひろみ 土井 洋美	出席	

出席：9名／12名中

2 事務局

所 属	職 名	氏 名
こども・青少年政策課	課長	あべ ひでひろ 阿部 秀宏
	総括主幹兼副課長	おかだ まさこ 岡田 雅子
	主任主査	こやま たろう 小山 太郎
	主任主査	とべ あきら 戸邊 朗
	主事	さたけ としき 佐竹 俊紀

席 次

議長席

あべ やすひろ 阿部 泰宏	委員
ゆだ てるひに 湯田 輝彦	委員
ことう まおり 後藤 紗織	委員
さとう しゅう 佐藤 掌	委員
やました のりふみ 山下 訓史	委員

てらしま こういち 寺島 孝一	委員
やまもと まゆみ 山本 真由美	委員
やまもと みつこ 山本 光子	委員
どい ひろみ 土井 洋美	委員

こども・青少年政策課 主任主査 とべ あきら 戸邊 朗	こども・青少年政策課長 あべ ひでひろ 阿部 秀宏	こども・青少年政策課 総括主幹兼副課長 おかだ まさこ 岡田 雅子
--------------------------------------	---------------------------------	--

こども・青少年政策課 主事 さたけ としき 佐竹 俊紀		こども・青少年政策課 主任主査 こやま たろう 小山 太郎
--------------------------------------	--	--

次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
こども・青少年政策課長
- 3 審議
優良書籍の推奨について（諮問）
- 4 その他
- 5 閉会



4 こ 第 9 0 6 号

令和 4 年 6 月 1 日

福島県青少年健全育成審議会長 様

福 島 県 知 事



青少年の健全な育成を図る上で有益な書籍の推奨について（諮問）

福島県青少年健全育成条例（昭和53年福島県条例第30号。）第30条の2の規定に
基づき、別紙の書籍の推奨について、同12条の規定による貴審議会の意見を求めます。

（事務担当 こども・青少年政策課 主任主査 戸邊 電話024-521-7187）

諮問書籍

諮問年月日：令和4年6月9日

(諮問理由) その内容が特に優れ、青少年の健全な育成を図る上において有益であると認められる。			
種類	名称	制作者又は配給者	推奨対象
書籍	学校が大好きアクバルくん	著者 長倉洋海 発行所 株式会社アリス館	小学生（低学年）
書籍	ぼくは川のように話す	文 ジョーダン・スコット 絵 シドニー・スミス 訳 原田勝 発行所 株式会社借成社	小学生（中学年）
書籍	おれは女の子だ	作 本田久作 絵 市居みか 発行所 株式会社ポプラ社	小学生（中学年）
書籍	カティとつくりかけの家	作・絵 福井さとこ 発行所 株式会社ポプラ社	小学生（中・高学年）

こどもを守る情報モラル向上支援事業

(令和4年度福島県・県教育委員会・県警察3機関連携事業)

1 背景

GIGAスクール構想により小学1年生から一人1台端末の教育環境が整う一方で、こどもたちのインターネット利用の長時間化、低年齢化も進んでいる。さらに、違法・有害情報や虚偽情報の拡散、SNSに起因する犯罪被害、ネット上の誹謗中傷やいじめ等、インターネット利用による弊害も深刻になっている。

2 目的

福島の未来を担うこどもたちが情報社会で適正な活動を行うための基礎となる考え方と態度を身に付け、ICTを活用して問題解決できる能力を伸ばし、世界や日本、地域社会で活躍できるように支援する。

3 概要

家庭や学校でこども（小中高生）のインターネット利用に関する基礎知識の習得度合いと利用状況を把握する支援システム「(仮)ふくしま情報モラル診断」を開発、運用する。

- 児童生徒と保護者を対象にCBT（※）で診断問題とアンケートを実施
- 診断問題で知識の習得度合いを把握、学校はグラフ等により児童生徒の実態を把握し情報モラルに関する指導に活用
- アンケートでスマホ所持率、ネット利用状況、フィルタリング率等を把握

(※CBT～Computer Based Testingの略でコンピュータを使った試験方式のこと。)

〈診断問題イメージ〉

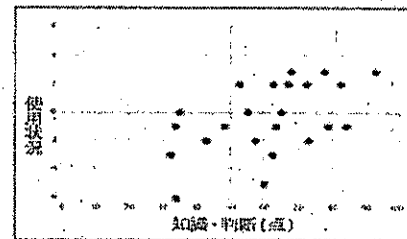
あなたが撮った写真をSNSやネットにアップするときにやってはいけないことをすべて選んでください。



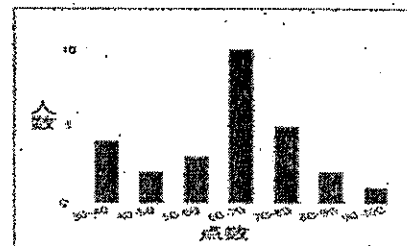
- | | |
|---|---------------------------------------|
| A | 友だちの寝顔の写真を許可なくSNSにアップする |
| B | 仲の良い友だちと一緒に撮った写真を本人の許可なくSNSにアップする |
| C | 外出先で撮影した写真に知らない人が写っていたが、そのままSNSにアップする |

出典：Yモバイル全国統一スマホデビュー検定

〈診断結果イメージ〉



診断結果分布図



得点分布図

出典：ネット利用診断サービス
(静岡大学×カスペルスキー)

4 スケジュール(予定)

令和4年4月～9月 システム開発
令和4年10月～ 先行運用
令和5年4月～ 本格運用

